

(様式第4号)

川西地域協議会 会議概要

1 審議会名	第3回川西地域協議会
2 日時	令和元年10月29日 午後1時40分から午後3時15分まで
3 会場	川西地域自治センター まちづくり活動拠点会議室
4 出席者	赤羽武幸会長、塩本幸子委員、神田けさ江委員、久保田直子委員、栗林一夫委員、今佐津雄委員、佐藤有紀委員、白鳥隆夫委員、田村実英委員、西澤仁史委員、若林み糸子委員 計11人
5 市側出席者	宮下センター長、上原地域振興政策幹、酒井係長、小山主査
6 公開・非公開	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和元年11月1日

協議事項等

- 1 開 会
- 2 あいさつ(赤羽会長)
- 3 事務局からの報告(欠席者9人、会議成立)
- 4 会議事項
  - (1) 連絡事項等
    - ・ 前回会議記録 承認
  - (2) 協議事項
    - ア 第二次上田市総合計画「地域の特性と発展の方向性の見直し」について  
諮問した内容について(担当課:政策企画課)説明がなされた。  
[第二次上田市総合計画は10年間の計画期間があるが、前期と後期に分かれる。後期に入るに当たり、前期の検証を行い後期の計画を策定するものである。地域協議会では、これまでの取り組み状況、地域の課題や情勢等の変化などを踏まえ、見直しの必要性や見直し案についての検討をお願いしたい。]  
<意見>  
(委員) 検証をする際に、項目の中には既に一部地域で実施されているものもあるが、その場合の判断はどうするのか。  
(担当課) 課題解決に向けた大きな方向性という視点で行ってほしい。  
(委員) 計画期間内に結果がでなくても、方向性を示すことが必要ということで良いか。  
(委員) 総合計画の本体の計画の中で行政としての方向性があるが、当地域の方向性はここから離れたものとなっても良いのか。  
(担当課) 総合計画は全市的取り組みである。地域協議会にお願いするのは、川西地区に必要なものをまとめてほしいということだ。  
(委員) 例えば、国道143号線の歩道整備というようなハード的なものでもよいのか。  
(担当課) 特に必要であれば入れてもらってよい。実際に他の地域協議会に道路整備に関する記述がある。  
(委員) 期成同盟会ができていない案件についても可能なのか。  
(担当課) 委員の皆さんが必要だと判断されるのであれば、載せてもらってよい。  
(委員) 「地域の特性」や「発展の方向性」の部分も修正してよいのか。  
(担当課) 可能である。
    - イ 地域協議会の見直し(案)に対する意見書について  
<意見>
      - ・ 川西地域から3人程度ということだが、その人数で川西地域のことを考慮できるのか。
      - ・ 少人数でも自治連など他に要望を市に上げられるシステムがあるのだから、真田、丸子、武

石は別として地域協議会をそれほど重要視しなくてもよい。

- ・地域協議会に今まで出席してみて、この会が本当に必要なのか疑問に思っている。とにかく委員の数を減らしてもらいたい。
- ・統一された組織になり地域の要望事項をまとめる際に、川西地域の課題は後回しされたとしてもそれは仕方がない。この地域に本当に必要なことは、自治連や期成同盟会などが対応する。
- ・統一組織となっても、少数意見に耳を傾ける運営をしてもらいたい。
- ・川西地域協議会としての意志をはっきりさせておくという意味で、附帯条件ではなく本文で「下記の条件を付して賛成する」という表現にする。

(3) その他

次回の協議会の開催期日 11月20日(水)

5 閉 会